

「生と死」 白朗 著

作品冒頭紹介

お婆さんは一度腰を下ろしてから、また立ち上がった。両足はがくがく震え、目の前の黒い雲はしばらくしてからようやく消えた。お婆さんはふうっとため息をついて、壁に触り、天井を見上げた。思ったとおり壁はまだひんやりと湿っている。南京虫の死骸と血痕で描かれた壁画は消えていた。空気もやや澄んだようだったが、その湿気には澱んだ石灰のにおいが混ざり、今なお息が詰まるように感じられた。天井は？天井はやはり低く、腕を伸ばせば、そのいちばん高い部分に手がとどく。低くて息苦しい。どんなに壁を白く塗ろうと、この暗い地獄を明るくすることはできまい。

講師：永井 英美 氏（立命館孔子学院中国語講師）

読書会は原則隔月で偶数月に開催します。

中国の短編小説を日本語訳で読んで感想を語り合い、また作者について学びます。（なるべく事前に作品を読んでください。）

■テキスト・作品

現在、二玄社『中国現代文学珠玉選 [小説3]』所収の作品を順に読んでいます。テキスト購入費は参加者負担ですが、現在絶版となっておりませんので、前日まで、もしくは当日の開始30分以上前にお越しください。事務局で作品のコピーをお渡しできます。図書館や古書をご利用いただいても結構です。

読書会

中国の小説に興味がある方、
本を読むのが好きな方、
一緒に「読書会」をしませんか。

12/7

土



12:30~14:30

立命館孔子学院図書室 参加無料

■お申込み方法

前日までに孔子学院事務局まで、電話、FAXもしくはメールでご連絡下さい。

■お申込み・お問合せ先

立命館孔子学院

〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1

立命館大学 アカデメイア立命21内

TEL：075-465-8426

FAX：075-465-8429

Mail：koza@st.ritsume.ac.jp

<http://www.ritsume.ac.jp/confucius/>